

平成16年「高年齢者就業実態調査」結果の概況

「高年齢者の就業実態調査」が平成12年以後16年に実施されている。

1 高年齢者の就業の状況 「高齢者の就業への意識は、非常に高いものと理解できる。」

55歳以上69歳までの高年齢者のうち、平成16年9月中に収入になる仕事をした者(以下「就業者」という。)は、男が71.5%、女が45.6%となっている。

年齢階級別に就業者の割合をみると、男の60～64歳は68.8%、65～69歳は49.5%、女の60～64歳は42.3%、65～69歳は28.5%となっている。

一方、平成16年9月中に収入になる仕事をしなかった者(以下「不就業者」という。)を年齢階級別にみると、男の60～64歳は31.2%、65～69歳は50.5%、女の60～64歳は57.7%、65～69歳は71.5%となっている。

また、不就業者で仕事をしたいと思いながら仕事に就けなかった者(以下「就業希望者」という。)は、男が14.2%、女が17.2%で、年齢階級別にみると、男の60～64歳は16.1%、65～69歳は21.0%、女の60～64歳は19.7%、65～69歳は18.3%となっている。

前回調査(平成12年)と比べると、就業者の割合は、男が0.6ポイント、女が1.4ポイントそれぞれ上昇している。就業希望者の割合は、男が0.3ポイント、女が0.8ポイントそれぞれ上昇している。(図1-1、図1-2、表1)

図1-1 高年齢者の就業状況

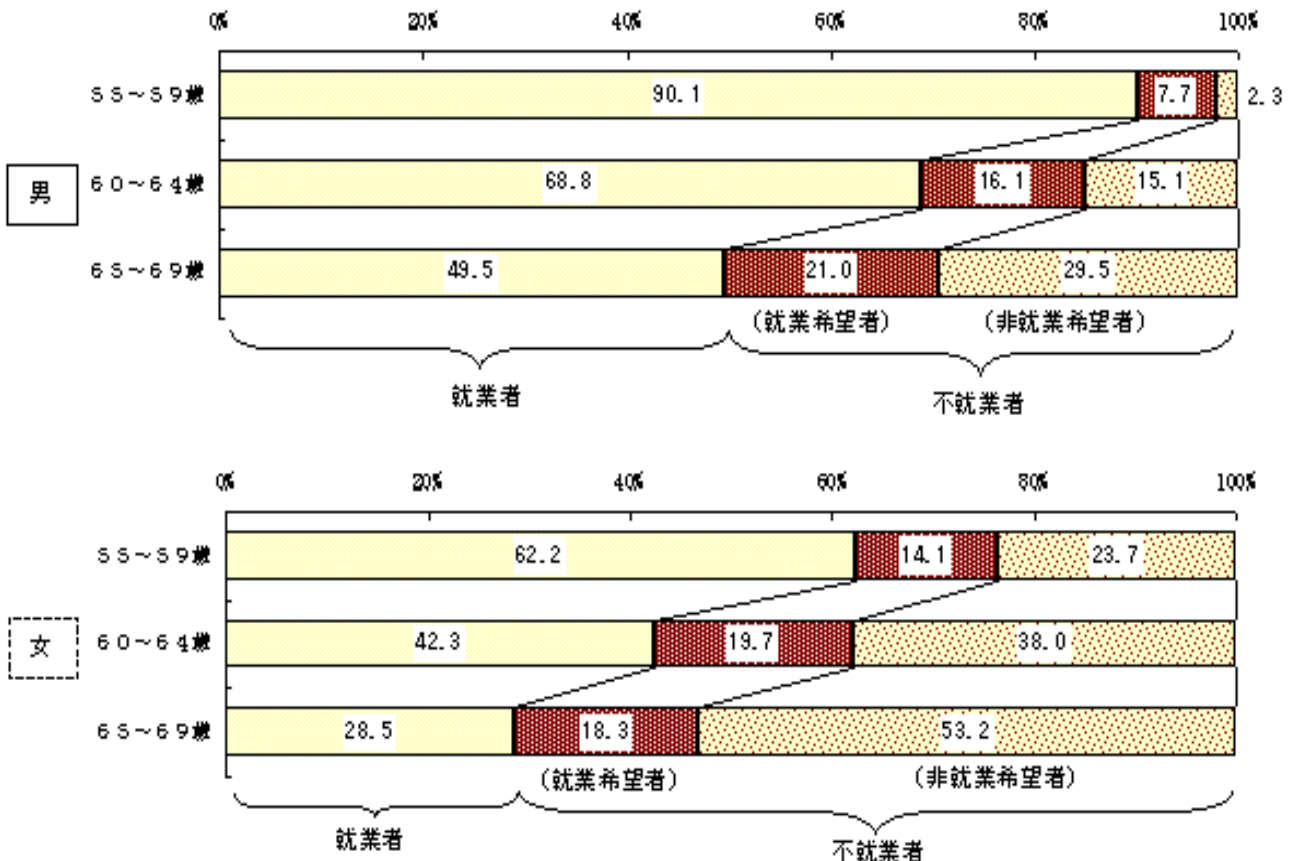


図1 - 2 高年齢者の就業状況(前回比較)

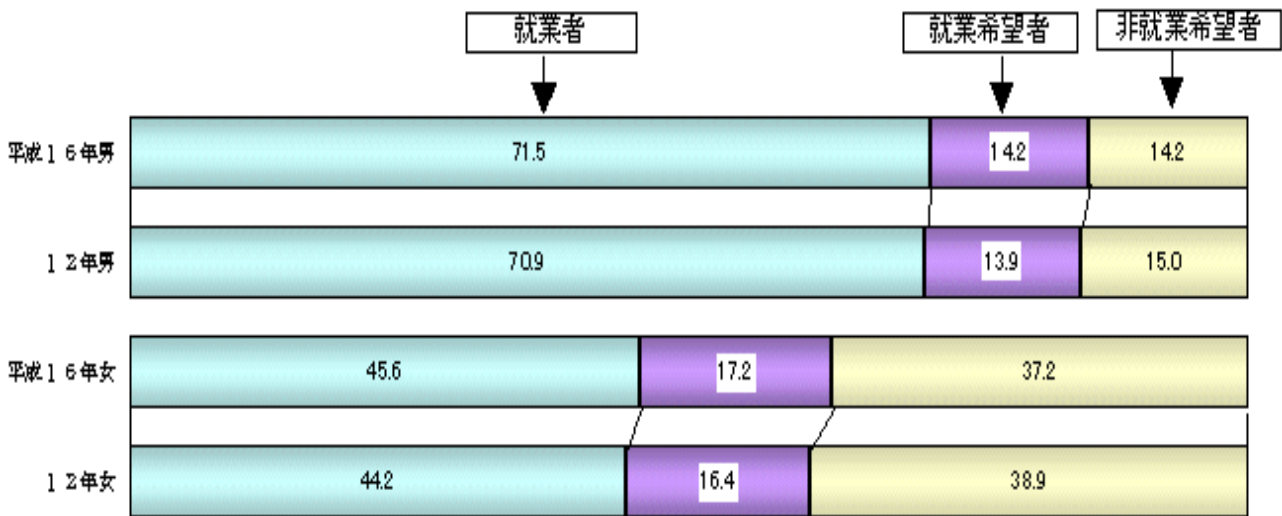


表1 高年齢者の就業状況

(単位: %)

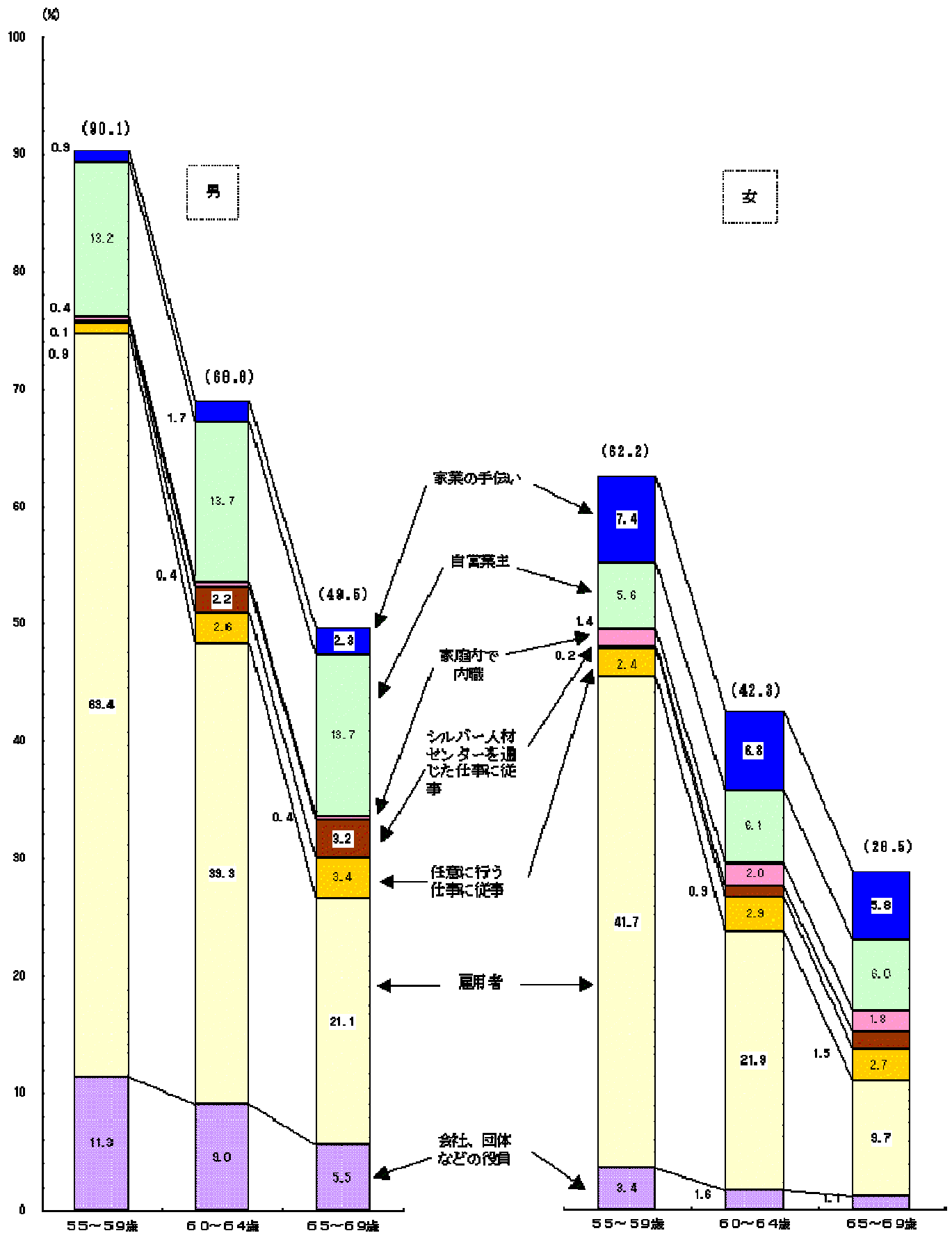
区分	高年齢者 総数	就業者 (9月中に収入 になる 仕事をした者)	不就業者 (9月中に収入に なる 仕事をしなかつた 者)	不就業者の内訳	
				就業希望者 (仕事をしたいと 思いながら 仕事に就けな かつた者)	非就業希望者 (仕事をしたい と思わなかつた 者)
男	100.0	71.5	28.5	14.2	14.2
55～59歳	100.0	90.1	9.9	7.7	2.3
60～64歳	100.0	68.8	31.2	16.1	15.1
65～69歳	100.0	49.5	50.5	21.0	29.5
女	100.0	45.6	54.4	17.2	37.2
55～59歳	100.0	62.2	37.8	14.1	23.7
60～64歳	100.0	42.3	57.7	19.7	38.0
65～69歳	100.0	28.5	71.5	18.3	53.2

前回(平成12年)						
男		100.0	70.9	29.1	13.9	15.0
	55～59歳	100.0	89.9	10.1	6.6	3.3
	60～64歳	100.0	66.5	33.5	18.4	14.9
	65～69歳	100.0	51.6	48.4	18.1	29.9
女		100.0	44.2	55.8	16.4	38.9
	55～59歳	100.0	59.7	40.3	14.1	26.0
	60～64歳	100.0	41.5	58.5	20.3	37.9
	65～69歳	100.0	28.7	71.3	15.1	55.3

2. 主な就業理由

- ・ 就業者について仕事をした主な理由をみると、「経済上の理由」は男が79.2%、女が67.6%と男女いずれも割合が最も多くなっている。
- ・ 「いきがい、社会参加のため」を挙げた割合は男が6.5%、女が10.6%、「頼まれたから、時間に余裕があるから」を挙げた割合は男が4.8%、女が8.1%、
- ・ 「健康上の理由(健康に良いからなど)」を挙げた割合は男が4.2%、女が5.1%となっている。
- ・ 年齢階級別にみると、「経済上の理由」は男女いずれも年齢階級が高くなるほど割合は減少している。
- ・ 一方、「いきがい・社会参加のため」、「頼まれたから、時間に余裕があるから」、「健康上の理由(健康に良いからなど)」は、年齢階級が高くなるほどそれぞれ割合が男女ともに増加している。
- ・ また、「経済上の理由」の具体的理由をみると、各年齢階級、男女いずれも「自分と家族の生活を維持するため」とする割合が最も多くなっている。(表3 割愛)

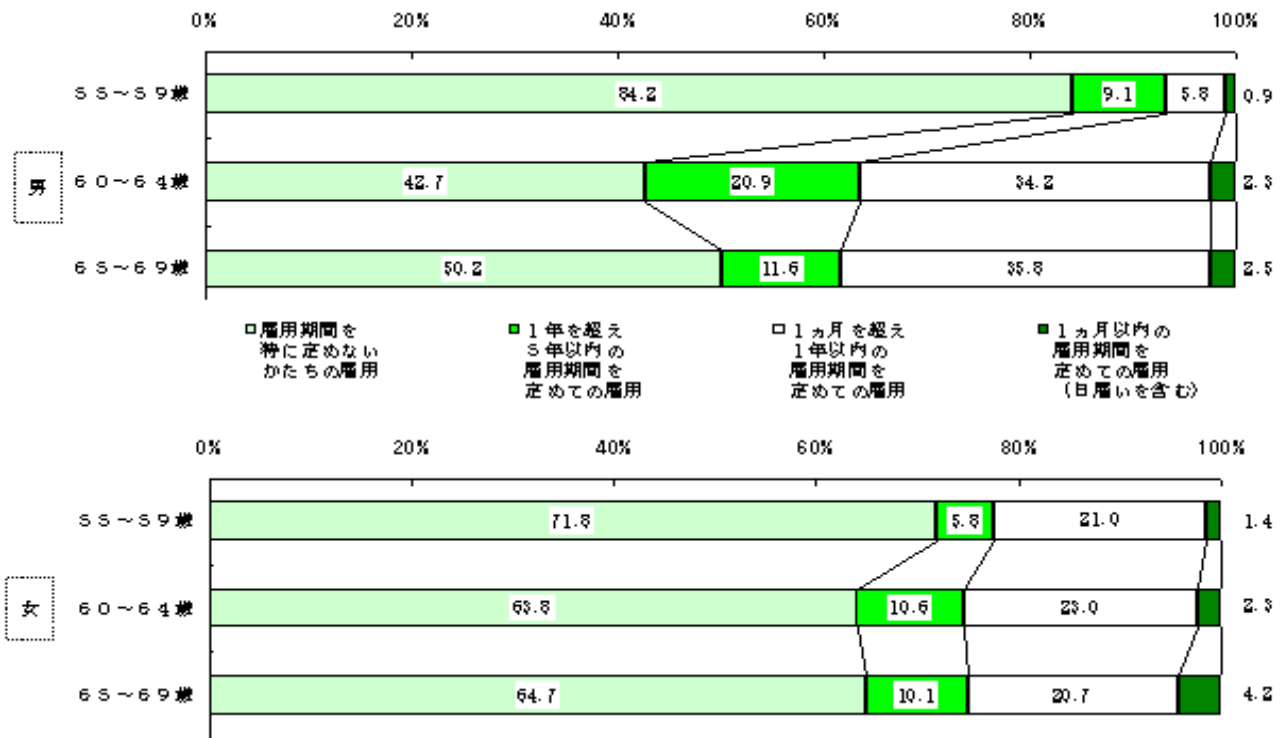
3. (図2) 就業者の従業上の地位



注：（ ）内は、性、年齢層別ごとの高年齢者に占める就業者の割合。

4. 雇用形態は、「雇用期間を特に定めなにかたちの雇用」割合が最も多い。

図3 雇用者の雇用形態



5. 雇用者の勤務形態就業者の勤務形態をみると、「普通勤務」の割合は平均で、男が81.5%、女が51.4%、「短時間勤務」の割合は、男が18.5%、女が48.5%となっている。

図4 雇用者の勤務形態

